



JAPAN
TOURISM
AWARDS

第10回 「ジャパン・ツーリズム・アワード」

一般社団法人日本旅行業協会
ツーリズムEXPOジャパン推進室
2026年4月2日

「ジャパン・ツーリズム・アワード」の歴史

2014年に日本の主要な観光産業の企業・団体が世界観光倫理憲章に署名したことを踏まえ、2015年から、世界観光倫理憲章の理解、推進及び観光産業における新たな価値創造を目的とした顕彰制度を設けるべく、UNWTOとの協議・承認を経て開始しました。

2019年の第5回より大賞、優秀賞が国土交通大臣賞、観光庁長官賞になるとともに、若い人の目線を審査に活かすため「学生が選ぶジャパン・ツーリズム・アワード」を新設。

コロナ禍での中断を経て、2023年の第7回より「観光庁長官表彰」を統合し、表彰対象に個人を加えました。

さらに、2024年の第8回より日本観光振興協会が主催していた「産業観光まちづくり大賞」を統合し、経済産業大臣賞を新設するなど、規模を拡大して今日に至っています。

「ジャパン・ツーリズム・アワード」は進化します。

2つの特徴

- ・ 「スタートアップ^o特別賞」の新設
- ・ 審査ポイントの明確化

「スタートアップ特別賞」を新設

より多くのすばらしい取組にご応募いただきたく
「スタートアップ特別賞」を新設しました。

ツーリズムのさらなる発展の為に、実績はこれからではあるものの、革新的なアイデアや技術に光を当て観光産業の発展を促進します。

審査ポイントの明確化

「環境」とは何かを明確化し、昨今課題となっている

「地域社会との共存」についても、審査ポイントに追加しました。

■ 第9回まで （審査ポイント：持続可能な観光への貢献）

- ・ 環境への配慮、歴史・文化遺産等の地域資源の活用・保全、人材育成、ユニバーサルデザイン、ダイバーシティ、リスクマネジメントなど持続可能な社会の実現に貢献しているか

■ 今回

持続可能な観光への貢献（抜粋）

- ・ **自然環境**への配慮がなされているか
- ・ **地域社会との共生**が図られているか

地域活性化への貢献（抜粋）

- ・ 多様なステークホルダーと連携し、地域社会の**維持**もしくは発展に貢献した取組であるか



審査ポイント

審査委員が総合的に評価いたします。

(委員長：本保芳明 一般財団法人アジア太平洋観光交流センター 理事長)

革新性

- 取組自体がイノベーションを促進し、新しいビジネスモデルとして新たな市場を開拓しているか
- 観光DXの推進による旅行者の利便性向上や観光産業及び地域産業の生産性向上等へ貢献しているか
- イノベーションの取組が地域経済の活性化及び地域・産業等の持続可能性の向上に新たな地平や展開をもたらすものであるか

事業性

- 観光地・観光産業の高付加価値化等の取組による「稼ぐ地域」の実現や観光産業の収益力向上等へ貢献しているか
- 収益・財源確保が見込まれ利用者の満足度が高い等、市場に認知され受け入れられている取組であるか
- 持続可能な観光の推進に向けた取組の継続性や実効性を高めるものであるか
※取扱人数、来訪者数、取扱件数、実施回数、観光消費額、経済効果等の具体的な実績、見込み、目標を明記すること
※スタートアップの取組については事業を開始していること

持続可能な 観光への 貢献

- 持続的に取組を実施していくことが可能であるか
- 自然環境への配慮がなされているか
- 地域社会との共存が図られているか
- 人材育成、リスクマネジメントなど自足可能な社会の実現に貢献しているか

地域活性化 への貢献

- 多様なステークホルダーと連携し、地域社会の維持もしくは発展に貢献した取組であるか
- 歴史・文化遺産等の地域資源の活用・保全しているか

応募概要

募集目標: 220件 (第9回 213件 / 第8回 119件)

応募対象

- ・ ツーリズムの拡大に資する事業展開をしている組織、企業、団体

国、政府、観光局、大使館、自治体、観光協会、DMO、DMC、NPO法人、旅行会社、運輸・交通機関、宿泊、学校、流通、食品、ICT、農林水産業・加工業、伝統工芸、みやげ品制作、地域経済団体（商工会議所・商工会）、販売業、TV局、新聞社、出版社、フィルムコミッション、スポーツコミッション、産業観光関係団体など

- ・ 観光の振興・発展に貢献した個人

応募種別

- ・ 自薦：団体・個人が自らの取組を応募する場合
- ・ 他薦：団体・個人の取組を第三者が推薦する場合



JAPAN
TOURISM AWARDS

応募概要

募集目標: 220件 (第9回 213件 / 第8回 119件)

応募対象となる取組

- (1) 持続可能な観光地域づくりへの取組
- (2) 観光の高付加価値化に対する取組
- (3) アウトバウンドへの取組
- (4) 国内交流及び関係人口拡大への取組
- (5) インバウンドへの取組

【具体例】

国内旅行、海外旅行、訪日インバウンド対応、観光地経営、テクノロジー(技術)、観光DX、AI活用、サービス/ソリューション、ウェルネスツーリズム、**ガストロノミーツーリズム、スポーツツーリズム、青少年交流、産業観光、MICE、スタートアップ**など

応募内容について

2024年の第8回は、119取組の応募をいただきましたが、前回（2025年）の第9回では前年を大きく上回る213取組のご応募を頂きました。

応募内容につきましては、新型コロナウイルス感染症の影響からの回復、インバウンド観光客の増加、持続可能性への関心の高まりなど、様々な変化に直面しているツーリズムの今を反映し、以前にも増して多様性に富んだ取組が寄せられました。

昨今、ツーリズムを取り巻く環境の変化は一段と早くなっており、幅広くアイデアを共有したく、スタートアップ企業・事業の応募を期待しております。

また、ツーリズムの喫緊の課題である「観光DX」や「AIの活用」といった、経済産業大臣賞に資する取組もお待ちしております。

スケジュール

4月1日（水）～5月29日（金）

募集期間

6月1日（月）～6月30日（火）

第一次審査

7月中旬頃

第一次審査通過取組発表

7月中旬～7月下旬

第二次審査

8月上旬

最終選考会

8月下旬

最終選考結果発表

9月24日（木）

表彰式（東京ビッグサイト）



各賞 (予定)



The infographic displays seven award categories on a dark blue background with gold laurel wreaths and ribbons. Each category includes the award name, the number of awards, and a brief description of the criteria.

賞名	本数	副賞が授与されます
国土交通大臣賞	1本	副賞が授与されます
経済産業大臣賞	1本	副賞が授与されます
観光庁長官賞	3本	副賞が授与されます
実行委員長賞	1本	副賞が授与されません
学生が選ぶ ジャパン・ツーリズム・アワード	2本	副賞が授与されません
UN Tourism 特別賞	2本	副賞が授与されません
スタートアップ特別賞	2本	副賞が授与されません
審査委員特別賞	10 ~ 15本程度	副賞が授与されません
入賞	15 ~ 20本程度	副賞が授与されません

受賞メリット

「国土交通大臣賞」受賞者および「経済産業大臣賞」受賞者には、
「ツーリズムEXPOジャパン2027」の出展権利1小間分が授与されます。

ツーリズムEXPOジャパン2026会場内で「ジャパン・ツーリズム・アワード」受賞の告知
を行うため、外部からの評価向上及び新たなビジネスパートナーの発掘につながります。

受賞後は受賞ロゴを使用することができるため、外部に向けてのPRができます。

主催三団体からあらゆる機会を通じて広報するため、受賞団体・組織内でモチベーションの
向上につながります。

「ツーリズムEXPOジャパン2026」ホームページ上で応募取組の紹介をします。